

ビデオオーバーレイソフト TrackVision(トラック・ビジョン)対応

車載カメラ等映像とロガーデータをビデオオーバーレイするソフト TrackVision <http://www.trackvision.net/>に対応するために、

デジスパイス走行データから TrackVision 用 CSV ファイルを出力するためのツール

DigSp2TrVision.exe (デジスパイスソフト Ver2.3.0 より前のバージョンに対応)

DigSp2TrVisionII.exe (デジスパイスソフト Ver2.3.0 以降に対応)

と

TrackVision にデジスパイスが出力した CSV ファイルを認識させるための“properties”ファイル

DigSpice2.properties

を提供いたします。



TrackVision は、フルハイビジョン映像に対応しています。また、ダッシュボードも 30 種類以上が用意されています。

DigSp2TrVision.exe、DigSp2TrVisionII.exe のインストール／アンインストール

インストールは、DigSp2TrVision.exe (DigSp2TrVisionII.exe) を適当なフォルダにコピーしてください。

アンインストールは、DigSp2TrVision.exe (DigSp2TrVisionII.exe) を削除してください。

“properties”ファイルのコピー

ファイル DigSpice2.properties を“properties”フォルダにコピーしてください。

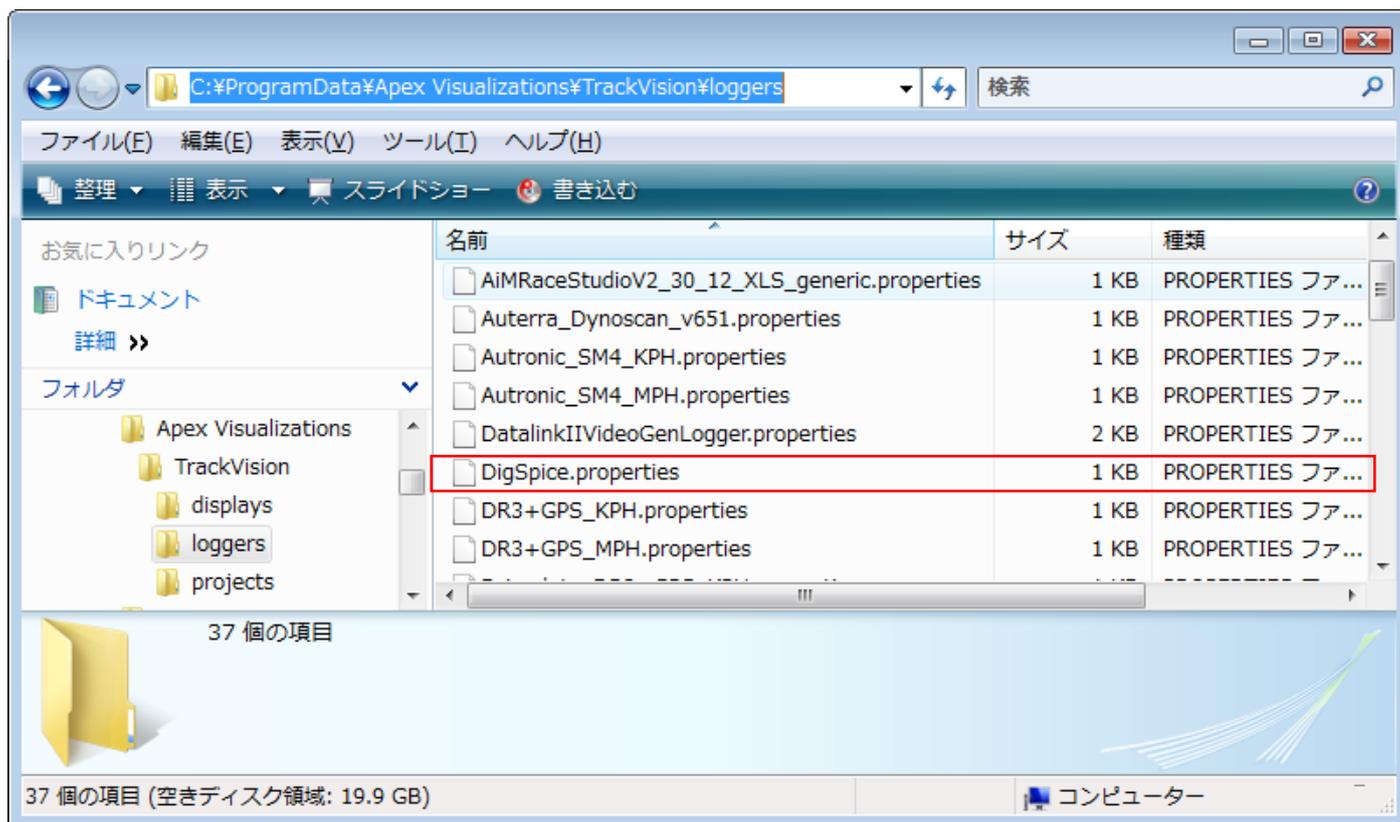
“properties”フォルダは、Windows Vista、7 の場合

C:\ProgramData\Apex Visualizations\TrackVision\loggers

です。

ProgramData フォルダは隠しフォルダに設定されているかもしれません。

表示方法は、<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows-vista/Show-hidden-files>



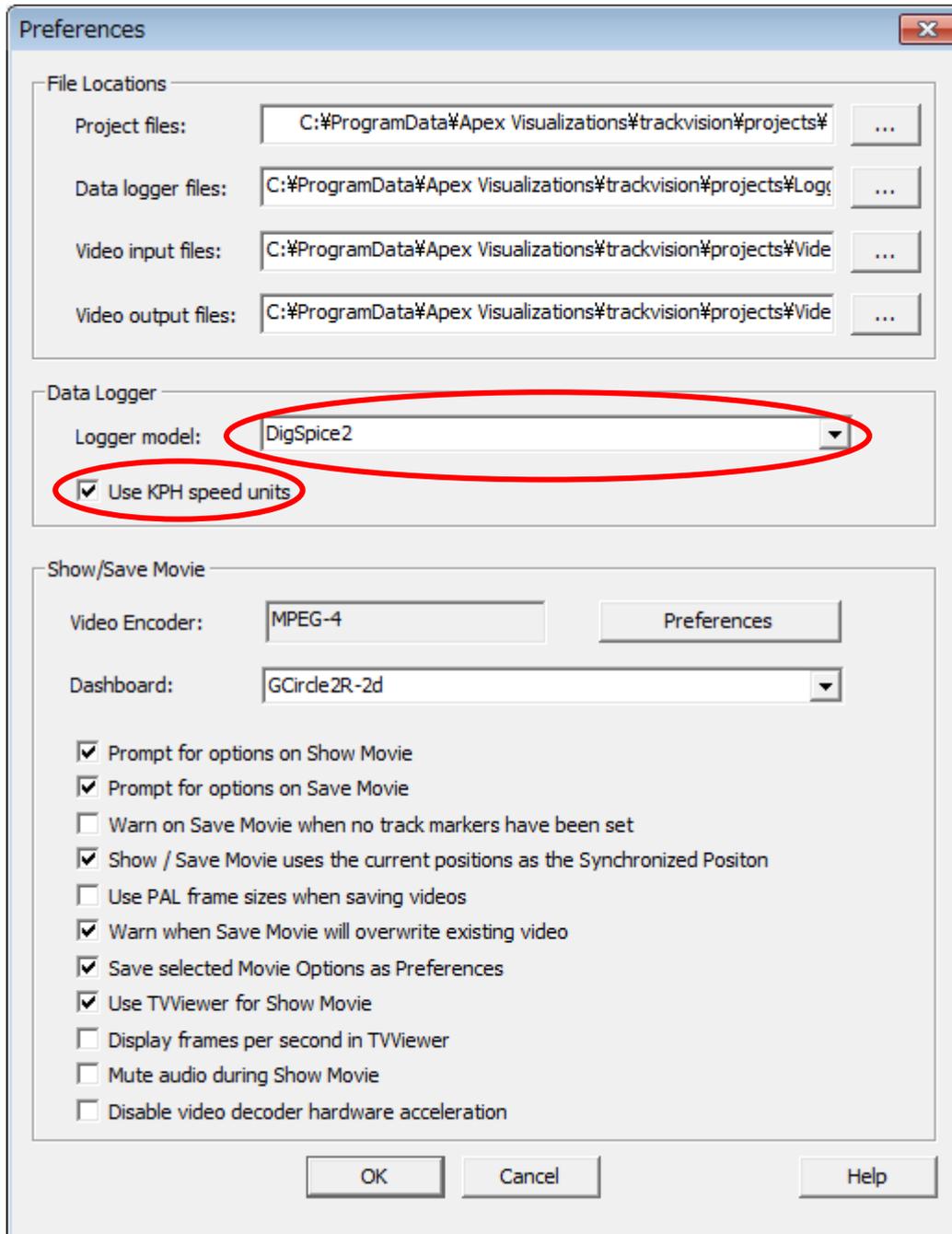
TrackVision の設定

デジスパイスツールが出力した CSV ファイルを使用するためには、TrackVision の設定変更が必要です。

TrackVision を起動し、“Preferences” を変更してください。

メニュー「Edit」、「Preferences」を実行し、

- Logger model を “DigSpice2” としてください。
- ”Use KPH speed units” にチェックを入れてください。



※ 事前に DigSpice2.properties が“properties”フォルダにコピーされていなければなりません。

TrackVision 用 CSV ファイル出力ツール DigSp2TrVision の操作

DigSp2TrVision を起動する前に、デジスパイス解析ソフト (DigSpice.exe) を起動し、出力したいラップデータを一覧データとして表示させてください。



The screenshot shows the DigSpice application window. The title bar reads "DigSpice". The menu bar includes "ファイル(F)", "ヘルプ(H)", "グラフ", "データ", and "GPS". Below the menu bar is a toolbar with various icons. The main area contains a table with the following data:

データ名	データ番号	日付	時刻	タイム	最高速 km/h	キヨリ km
sample_data	0000	2010/11/14	15:59:01	3:36.113	103.10	2.10
sample_data	0001	2010/11/14	16:02:37	1:08.883	177.44	2.09
sample_data	0002	2010/11/14	16:03:46	1:04.218	179.03	2.08
sample_data	0003	2010/11/14	16:04:50	1:04.367	177.44	2.09
sample_data	0004	2010/11/14	16:05:55	1:04.147	179.25	2.08
sample_data	0005	2010/11/14	16:06:59	1:04.448	179.21	2.09
sample_data	0006	2010/11/14	16:08:03	1:04.147	180.07	2.09
sample_data	0007	2010/11/14	16:09:07	1:04.356	178.91	2.09
sample_data	0008	2010/11/14	16:10:12	23:09.856	156.21	2.82

次に DigSp2TrVision (DigSp2TrVisionII) を起動します。



The screenshot shows the "DigSpice to CSV for TrackVision Ver1.0.0" dialog box. It features a table of lap data on the left and a text area on the right with an "出力" button.

データ番号	日付	時刻	タイム	最高速 km/h	キヨリ km
0000	2010/11/14	15:59:01	3:36.113	103.10	2.10
0001	2010/11/14	16:02:37	1:08.883	177.44	2.09
0002	2010/11/14	16:03:46	1:04.218	179.03	2.08
0003	2010/11/14	16:04:50	1:04.367	177.44	2.09
0004	2010/11/14	16:05:55	1:04.147	179.25	2.08
0005	2010/11/14	16:06:59	1:04.448	179.21	2.09
0006	2010/11/14	16:08:03	1:04.147	180.07	2.09
0007	2010/11/14	16:09:07	1:04.356	178.91	2.09
0008	2010/11/14	16:10:12	23:09.856	156.21	2.82

“TrackVision”用のCSVファイルを出力します。
ラップ、あるいは連続する複数のラップを
選択し「出力」ボタンをクリックして下さい。

出力

※デジスパイス解析ソフトを実行し、出力したい
データを表示している状態で起動してください。

デジスパイス解析ソフト上に表されているものと同内容のデータ一覧が表示されます。

出力したいラップ、あるいは連続する複数のラップを選択します。
(ラップをクリック、あるいはドラッグ)

データ番号	日付	時刻	タイム	最高速 km/h	キヨリ km
0000	2010/11/14	15:59:01	3:36.113	103.10	2.10
0001	2010/11/14	16:02:37	1:08.883	177.44	2.09
0002	2010/11/14	16:03:46	1:04.218	179.03	2.08
0003	2010/11/14	16:04:50	1:04.367	177.44	2.09
0004	2010/11/14	16:05:55	1:04.147	179.25	2.08
0005	2010/11/14	16:06:59	1:04.448	179.21	2.09
0006	2010/11/14	16:08:03	1:04.147	180.07	2.09
0007	2010/11/14	16:09:07	1:04.356	178.91	2.09
0008	2010/11/14	16:10:12	23:09.856	156.21	2.82

“TrackVision”用のCSVファイルを出力します。
ラップ、あるいは連続する複数のラップを選択し「出力」ボタンをクリックして下さい。

出力

※デジスパイス解析ソフトを実行し、出力したいデータを表示している状態で起動してください。

「出力」ボタンをクリックし、ファイル名を指定してください。

名前を付けて保存

保存する場所(D): test

名前

更新日時

種類

サイズ

このフォルダは空です。

最近表示した場所

デスクトップ

sato

コンピュータ

ネットワーク

ファイル名(N): sample

保存(S)

キャンセル

ファイルの種類(T): CSVファイル

出力したファイルを示すメッセージが表示されます。

情報

sample.csv を出力しました。

OK

出力した CSV ファイルは、TrackVision 上で Logger データとし読み込むことができます。

CSV ファイルの出力項目は、以下の通りです。

Time	サンプリングタイム
LapTm	ラップタイム
X	軌跡座標 X
Y	軌跡座標 Y
Spd	速度
XG	コーナリング G
YG	加減速 G
DistKm	キヨリ